

## 中島興業

# 10月に4500円値上げ

## 関東最大手ミキサ車リース料金

関東のコンクリート  
ミキサ車リース最大  
手、中島興業（埼玉原  
羽生市、西村繁社長）  
は10月1日から運転手  
を含めた1台当たりの  
リース料金（8〜16時）  
を3万1500円（税

別）と4500円引き  
上げる。人材の確保や  
配車の近代化など事業  
の持続性を確保する狙  
い。最大手が値上げを  
表明したことで同業他  
社も追随する公算が大  
きい。

リース料金の値上げ  
は約10年ぶり。同社が  
燃料を50kmまで負担す  
る場合は、1台当たり  
3万6500円（同）  
となる。

西村社長は「運転手  
の高齢化が進行してい  
る。今後、5年くらい  
で定年退職者が急増  
し、運転手不足が一段

と深刻化する恐れがあ  
る」と指摘する。値上  
げを通じて待遇を改善  
し、人材を確保しやす  
くしたいと考えた。同社  
は8〜9月に「長期の  
顧客と協議に応じる」  
としている。

原材料の値上がりや  
輸送費の上昇で生コン  
会社のコストが膨ら  
む。リース料金の値上  
げでコスト負担はさら  
に重みを増すのは必至  
で、転嫁値上げの実現  
は待ったなしの状況に

なっている。

中島興業はミキサ車  
70台を擁し、東京、埼  
玉、神奈川など関東一  
円に顧客を持つ。生コ  
ン需要の回復に伴い今  
後3年で30台増やす計  
画だ。スマートフォン  
を活用した動態管理シ  
ステムの試験運用を始

めるなど配車管理の  
「見える化」に取り組  
んでいる。さらに、運  
転手の安全運転意識や  
技能の向上を図るた  
め、同社を中心に「バッ  
ク検定協会」を設立。  
同社の社内基準として  
運用してきた検定項目  
の標準化を進めている。